



GLOBAL LOCATIONS



ダイキン工業株式会社

本社 〒530-8323
大阪市北区中崎西 2-4-12 梅田センタービル(総合受付19F)

東京 〒108-0075
東京都港区港南 2-18-1 JR品川イーストビル(総合受付12F)

◆ダイキン工業ホームページ <https://www.daikin.co.jp/>

◆DAIKIN GLOBAL(海外版ホームページ) <https://www.daikin.com/>

POZ13168H (21.06.005) Y.K.

2021

空気で答えを出す会社

発想のまん中にいつも「快適な暮らし」があります。



ぴちよんくん:「うるるとさらら」のキャラクター

会社概要



社名 **ダイキン工業株式会社**
 創業 **大正13年(1924年)10月25日**
 設立 **昭和9年(1934年)2月11日**
 代表者 **取締役社長兼CEO 十河 政則**
 資本金 **850億円**
 従業員数 **単独 7,732名(2021年3月現在)**
連結 84,870名(2021年3月現在)
 本社 **大阪市北区中崎西二丁目4番12号(梅田センタービル)**
 支社 **東京**

主要事業



■ 子会社数合計 **315社** (国内30社・海外285社) ■ 従業員数(連結) **84,870名**
 ■ 生産拠点数 **100ヶ所以上**
 ■ 事業展開 **160ヶ国以上** ■ R&Dセンター **24ヶ所**

CONTENTS

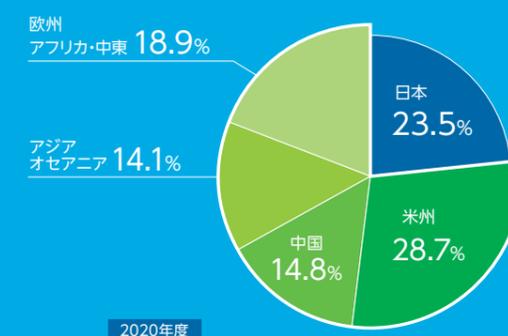
ダイキンの概要…………… 1-2
 北米…………… 3-4
 アセアン&インド…………… 5-6
 東アジア…………… 7-8
 中南米…………… 9
 ヨーロッパ…………… 10
 中近東&アフリカ…………… 11
 日本…………… 12
 世界の主要生産拠点…………… 13-14
 海外主要空調製品…………… 15-16
 トピックス…………… 17
 冷媒について…………… 18

売上高・営業利益

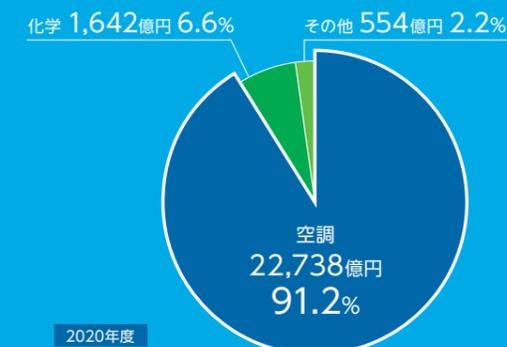
■ 売上高・営業利益推移[全社]



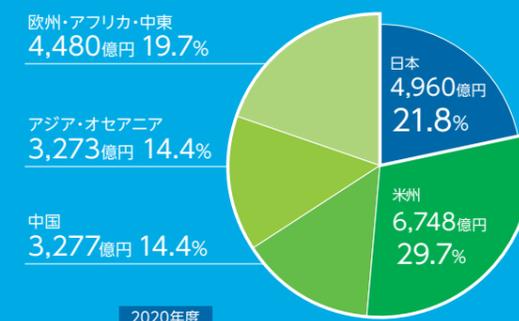
■ 海外事業比率[全社] 76.5%



■ 部門別売上高[全社] 計24,934億円



■ 地域別売上高[空調] 計22,738億円



EAST ASIA



大金(中国)のグループ企業



蘇州工場における省エネへの取り組み



大金空調(蘇州)有限公司は
緑色建築「二つ星」を受賞して
おります。

太陽光発電



太陽光発電システム(300kW)を設置
年間発電量: 20.77kW/h(2013年度)

空調



水冷式ビル用マルチで地中熱を冷温水熱源に
利用しています。その他「Super VRV III」を
採用しています。

照明

工場棟

LED照明を採用。



事務所棟

高効率蛍光灯照明を人感センサーにより
ON/OFF制御、照度センサーにより調光を制御。



制御システム



各棟の消費電力量・空調設備を監視、特に事務所棟は
当社制御システム「Intelligent Manager III」を用いて
オフィス内の空調設備を集中制御管理。

生産ラインの運用改善



- 圧縮空気用コンプレッサのインバーター化
- 各種油圧ユニット(左写真)のIPMモーター化
- その他各種設備では、高速化・複数同時加工などで、
生産性を向上することによる省エネを実施。

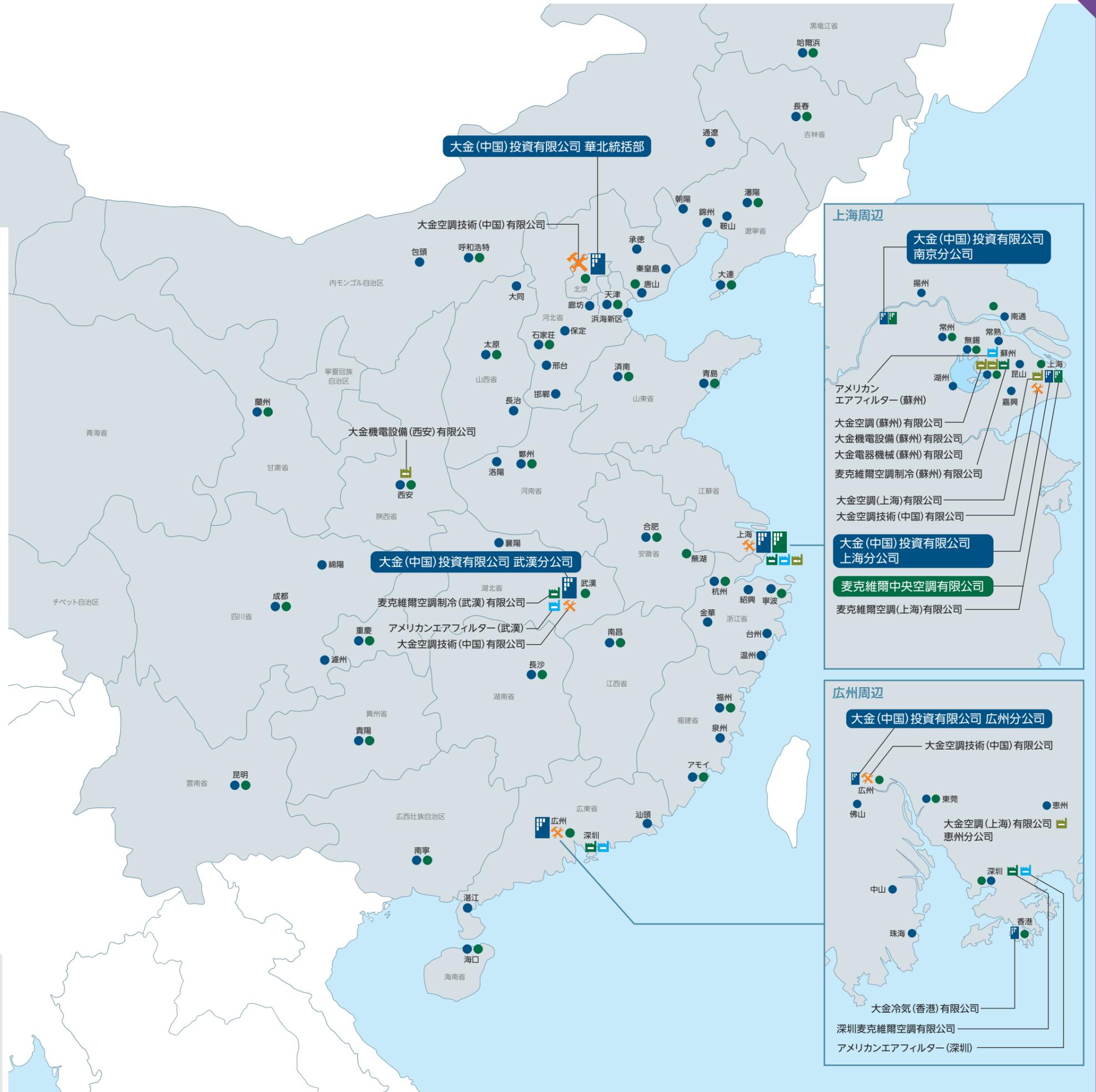
主な拠点



大金(中国)投資有限公司
(北京・上海・広州・武漢・南京)
● 営業
大金空調技術有限公司
(北京・上海・広州・武漢)
✕ サービス



麦克維爾中央空調
有限公司(上海)
● 営業/サービス

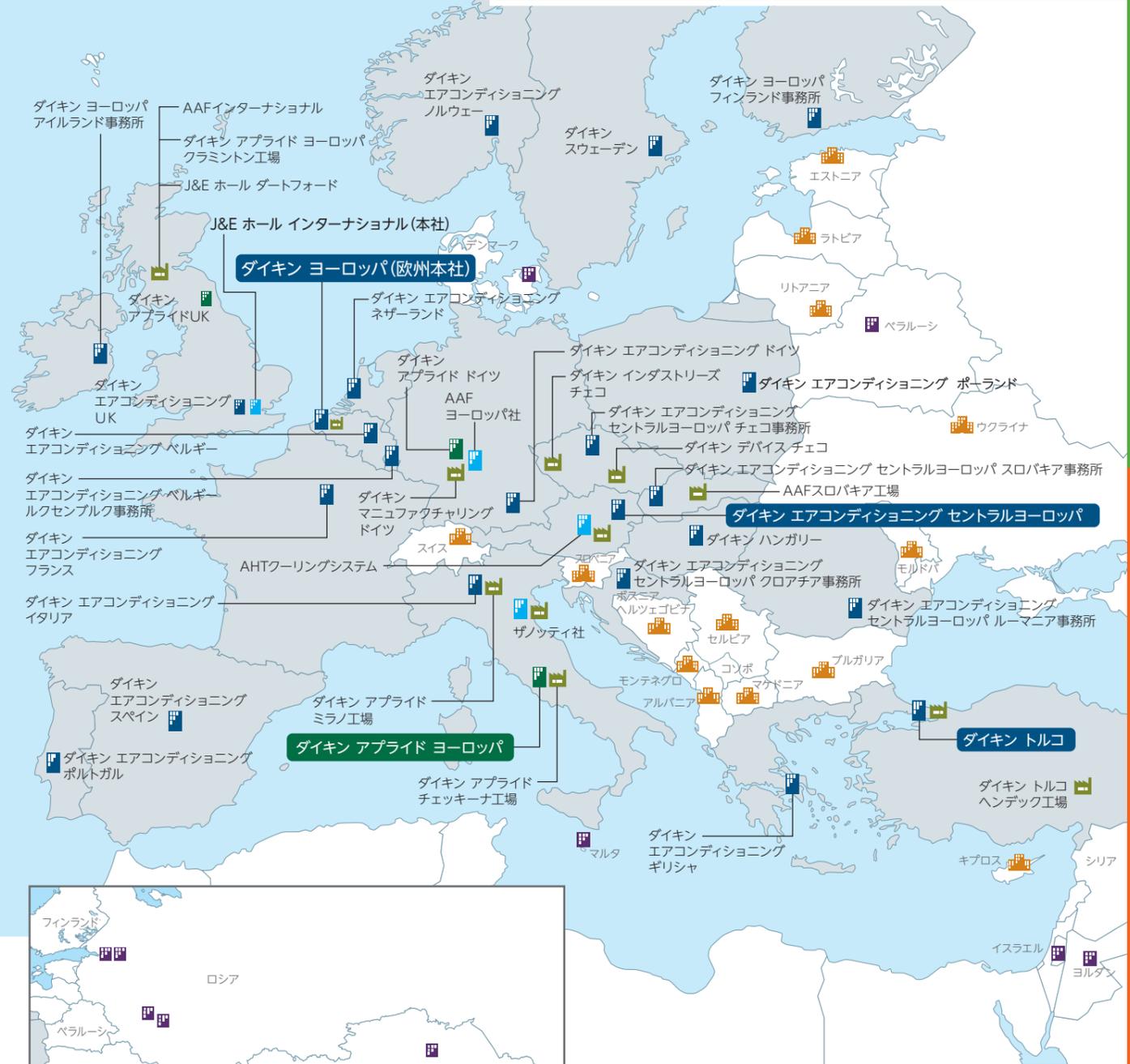


EUROPE

環境規制や高い省エネ性が求められる市場において、45年以上培ってきた高い技術力でお客様をサポートいたします。

主な拠点

-  **ダイキン ヨーロッパ** (ベルギー オステンド市、ブリュッセル市)
-  **ダイキン トルコ** (トルコ イスタンブールヘンデック)
-  **ダイキン アプライド ヨーロッパ** (イタリア ローマ)



RUSSIA & CIS

(ロシア&CIS)



Group CYVSA本社 (メキシコシティ)



2019年4月、Group CYVSA社を買収し、メキシコでの販売力を更に強化いたしました。CYVSA社はメキシコ国内に16拠点を保有し、HVACを中心とした機器・制御の設計・積算～施工～保守・更新の循環型ユーザーダイレクトのソリューションビジネスを展開しています。

LATIN AMERICA

空調需要の高まる中南米地域において直轄拠点の整備を進め、販売・サービス体制を強化しております。

メキシコにおける販売サービス体制強化の取り組み

ダイキン エアコンディショニング メキシコ 研修所



メキシコシティ郊外の研修所にてビル用マルチエアコンの商品・据付指導を行っております。

グアダハラ、モンテレイ、レオン ショールーム



空調需要の多い、グアダハラ・モンテレイ・レオン地区にて当地で販売の実機をご見学いただけます。

ブラジルにおける販売サービス体制強化の取り組み



サンパウロ中心部のBarra Funda地区に業界最大のトレーニングセンターを開所。また、トレーニングセンター内にコールセンター(アフターサービス)も併設。



2017年よりサンパウロの本社にショールームを開設。2019年11月よりレシフェ支店、ブラジリア支店、リオデジャネイロ支店、ポルトアレグレ支店にも開設。

主な拠点



ダイキン エアコンディショニング メキシコ



ダイキン エアコンディショニング ブラジル

MIDDLE EAST & AFRICA

高外気温度の中東やアフリカ各地にも広がるダイキンのネットワーク。

販売サービス体制の強化、技術支援を行っております



WASSHA株式会社とタンザニアにて合併会社、BaridiBaridiを設立。

低炭素社会の実現に向け、初期費用を抑えたサブスクモデルで省エネ性の高いエアコンの普及を目指します。

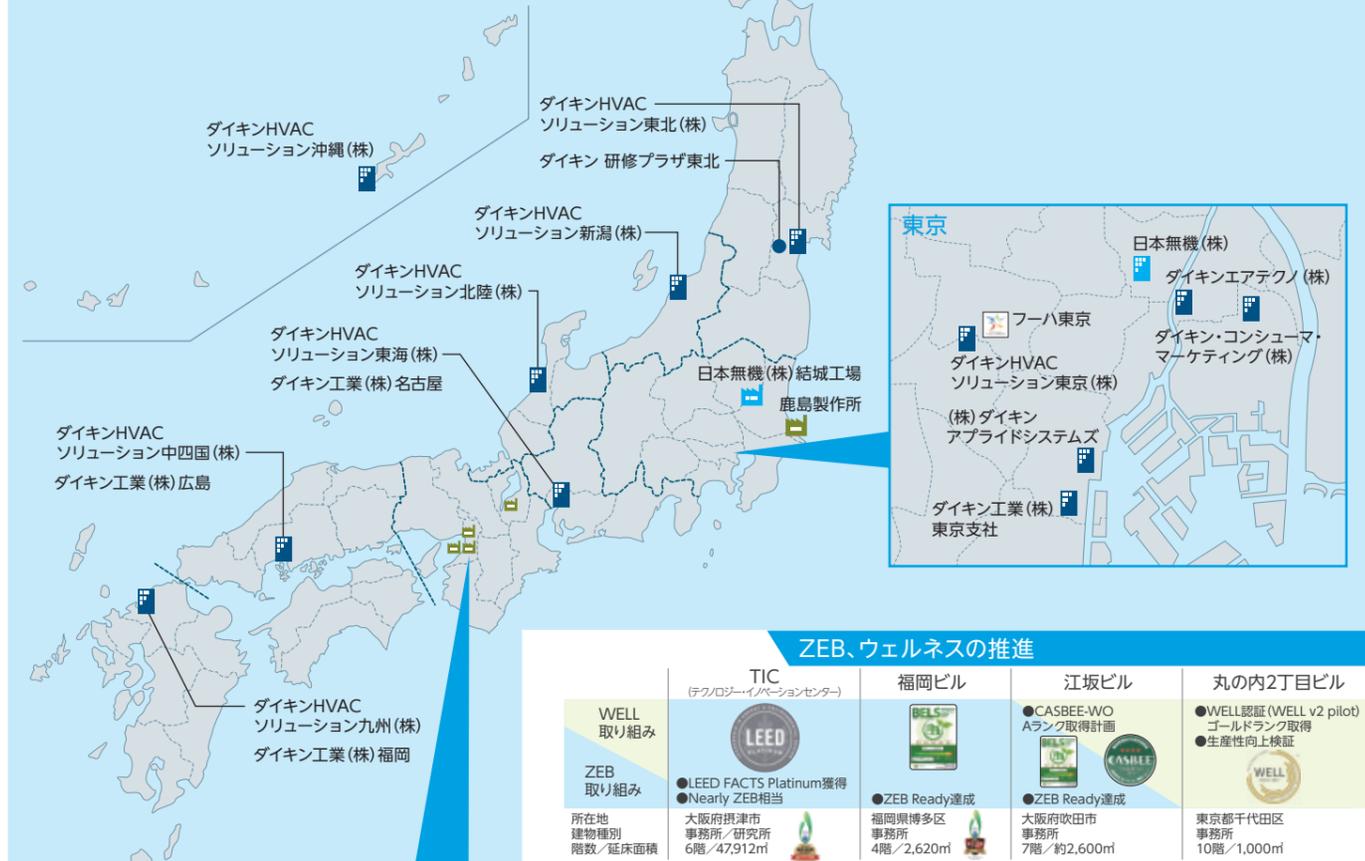


主な拠点

- ダイキン ミドルイースト & アフリカ
- ダイキン ミドルイースト & アフリカ AHU工場
- ダイキン エアコンディショニング サウジアラビア
- ダイキン エアコンディショニング カタール
- ダイキン エアコンディショニング エジプト
- ダイキン エアコンディショニング サウスアフリカ

JAPAN

世界のダイキンの中心として空調テクノロジーを更に高め、グローバルに発信してまいります。



大阪

- ダイキン工業(株)本社
- フォーハ大阪
- オーケー器材(株)
- ダイキンHVAC ソリューション近畿(株)

国内生産拠点

- 堺製作所 金岡工場
- 淀川製作所
- 堺製作所 臨海工場
- 滋賀製作所

ZEB、ウェルネスの推進

	TIC (テクノロジーイノベーションセンター)	福岡ビル	江坂ビル	丸の内2丁目ビル
WELL 取り組み	LEED	BELLS	CASBEE-WO	WELL
ZEB 取り組み	LEED FACTS Platinum獲得 Nearly ZEB相当	ZEB Ready達成	ZEB Ready達成	WELL認証(WELL v2 pilot)取得 ゴールドラック取得 生産性向上検証
所在地	大阪府摂津市	福岡県博多区	大阪府吹田市	東京都千代田区
建物種別	事務所/研究所	事務所	事務所	事務所
階数/延床面積	6階/47,912㎡	4階/2,620㎡	7階/約2,600㎡	10階/1,000㎡

テクノロジー・イノベーションセンター

2016年LEEDプラチナ認定/CASBEE Sランク取得
第29回日経ニューオフィス賞、
ニューオフィス推進賞・近畿経済産業局長賞を受賞

淀川工場内に技術開発拠点として全国の空調・化学の研究、技術開発部門を集約し、2015年11月開所。世界最高レベルの実験設備を有し、全世界のマザー研究施設としてコア技術、基盤技術、世界標準商品の研究開発に重点をおき、産学連携によるイノベーション創出を行っております。ZEB (Zero Energy Building) のロールモデルとして省エネの実践・検証も行っております。

堺製作所 臨海工場

2019年度省エネ大賞受賞
省エネ事例部門「省エネルギーセンター会長賞」受賞
「新空調方式の採用とビッグデータ活用による新工場の省エネ取り組み」

2018年6月に建て替えたダイキンの主力製品のVRV室外機を生産するマザー工場。IoTの活用により生産効率1.5倍等、部品の在庫数や生産時間を管理し、生産性、品質の安定性を向上しています。また、独自の空調方式「タスク&アンビエント方式」を採用し、年間空調電力削減量約75%を達成いたしました。

point 0 marunouchi

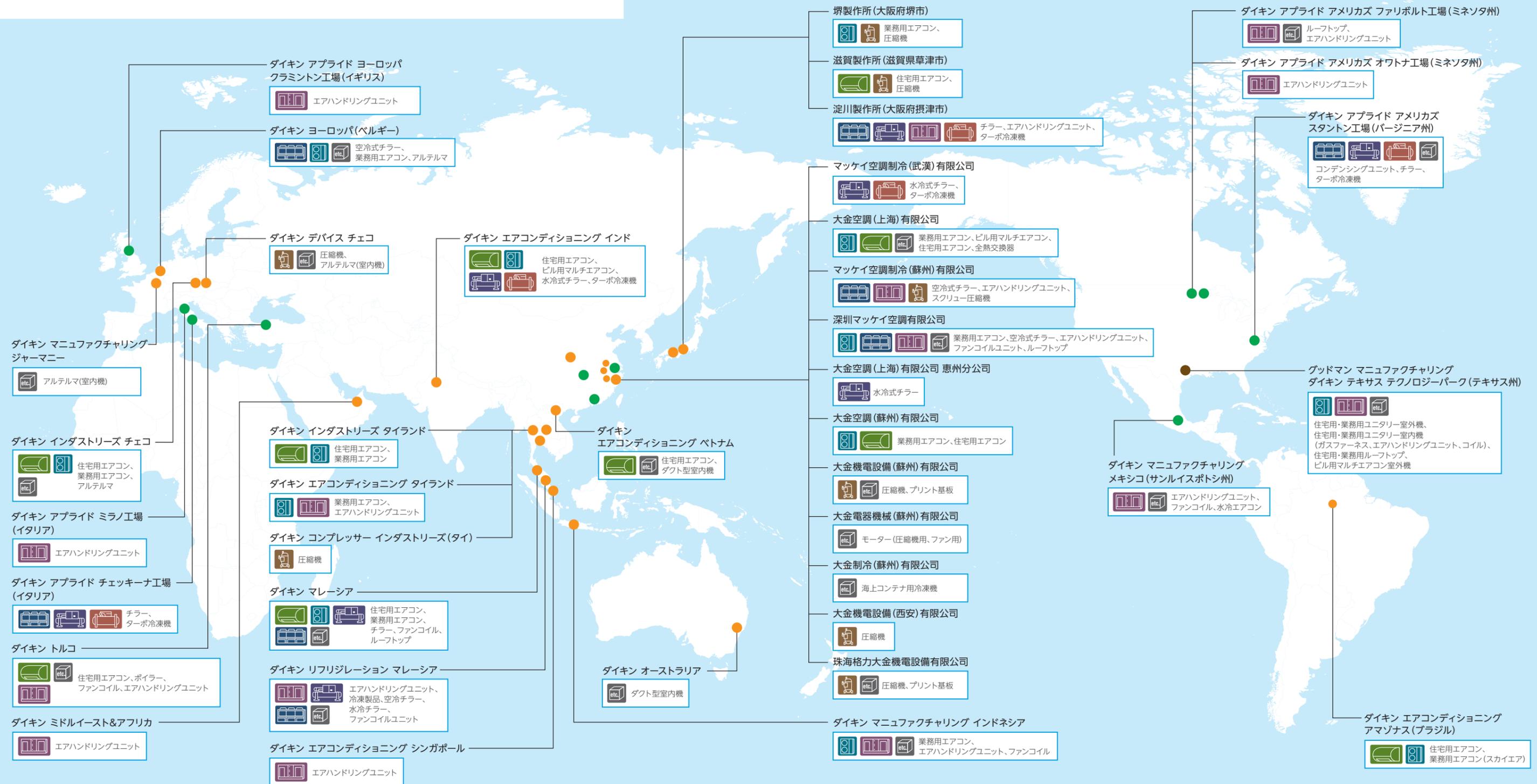
2020年12月WELL認証(WELL v2 pilot) 日本初のコワーキングオフィス初のゴールドラック取得

空間データの協創プラットフォーム「CRESNECT」を活用し「未来のオフィス空間」づくりを目指すプロジェクト。スマートウェルネスオフィスを目指し、2019年7月より9企業共同での実証実験を開始し、現在も進化を続けています。



世界の主要生産拠点

世界各地の規格・空調文化に合う製品をより早く、確実に届けるため、グローバルに展開するダイキンの生産拠点。多様な現地ニーズへ迅速に対応するため、現地の状況と日本の生産・開発方式とのベストミックスを図り、世界各地でダイキングループの商品をお使いいただける体制づくりを進めてまいります。



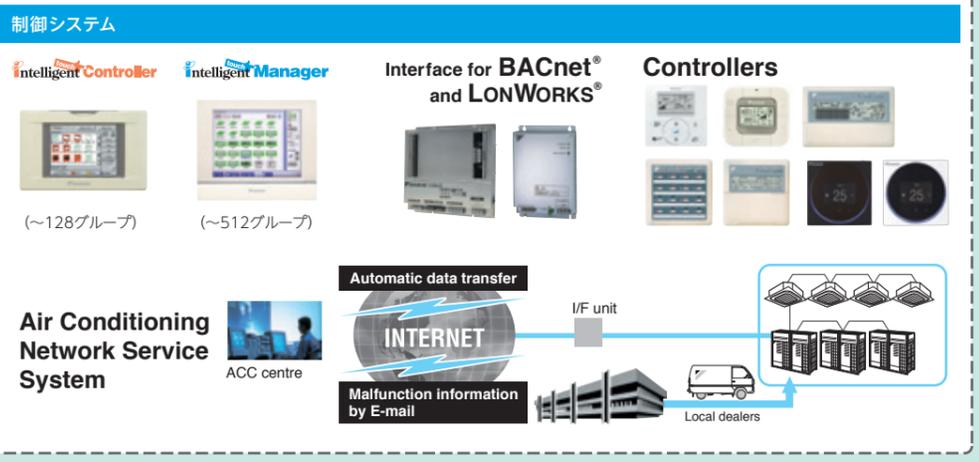
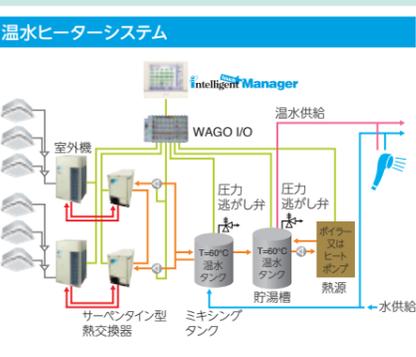
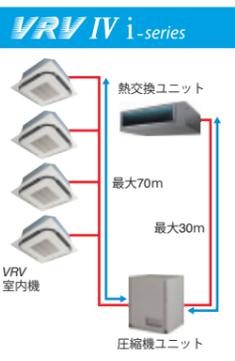
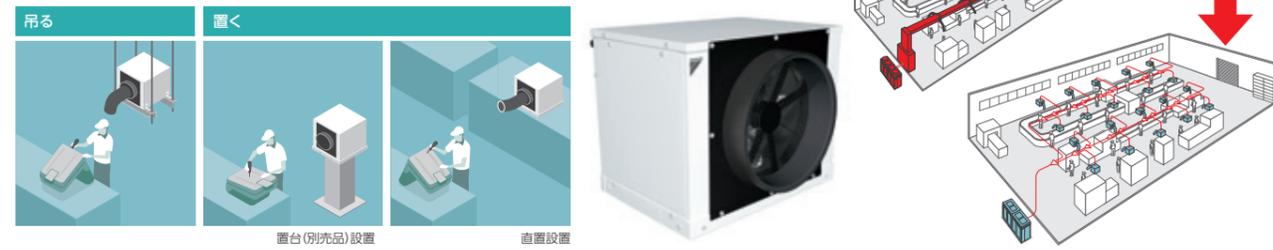
主要製品 ※本紹介は概要です。詳しくは営業担当へお問い合わせください。



ダイキングループの海外主要空調製品

ダイキングループは、住宅用ルームエアコンから大型熱源・二次側機器まで販売する空調総合メーカーです。貴社の空調ニーズやご要望に応じた空調を提供してまいります。

Spot Air Conditioner (MULTI CUBE)



※本紹介は概要であり、国・地域により商品が異なりますので詳しくは営業担当へお問い合わせください。

産業用・商業用

商業用

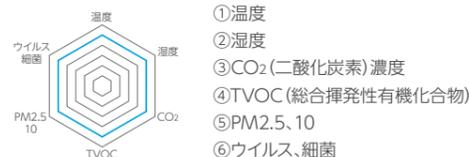
住宅用

ダイキンは、人が幸せになる空気・空間づくりを目指しています。
 空気の可能性を信じ、追い求め、新しい価値を加えてこれまでになかった空気を世界へ届けます。

1 室内空気質 (IAQ: indoor air quality) 向上への取り組み

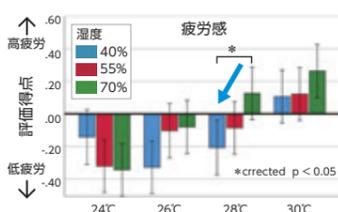
1 良い空気質とは何か?

●空気質要素をバランスよく維持することが大事



●湿度コントロールで疲労感が低減

ダイキン研究機関での取り組み
 ダイキン・理化学研究所の快適で健康的な空間づくりに向けた共同研究では、室温28℃でも湿度を下げれば疲労軽減に有効であることを実証しました。



2 まずは空気・空間の質を調べてみましょう!

診断メニュー(1) 空気空間計測

温度・湿度・CO₂・UVなど室内の空気環境を測定

診断メニュー(2) IAQチェック

空調室内機内部の付着菌や室内浮遊菌を採取し専門機関で分析
 ※IAQ:indoor air quality(室内空気質)

診断メニュー(3) 気流解析

気流解析シミュレーションにより温度分布や気流を可視化

●空気環境診断報告書

空気・空間の困りごと調査やお客様が気付いていない課題を見つけ改善策や最適化をご提案



3 良い空間をつくりましょう!

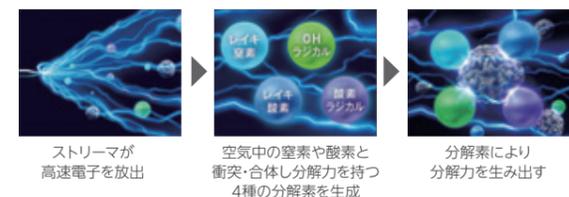
●新商品:UV・ストリーマ技術搭載 空気清浄機

除菌作用の高い波長265nm付近の深紫外線を照射する、旭化成グループCrystal IS社(米国)の「Klaran(クララン)」を業界で初めて空気清浄機に採用



●ストリーマ技術とは

ダイキン工業が開発したストリーマ技術は高速電子を安定的に発生し、生成された分解素でウイルス・菌などを分解し無害化します。



●室内空気質IAQセンサー



CO₂濃度レベルをリアルタイム表示。スマホプッシュ通知でお知らせ。

●全熱交換器によるCO₂コントロール



●密アラートシステム

在室状況とCO₂濃度で密を見える化換気機器と連動で省エネも実現します



2 協創からの商品開発 株式会社ダイセルとの共同開発

●全熱交換器ユニット向け「透湿膜全熱交換エレメント」(中国向け)

ダイセルと共同開発した「透湿膜シート」は従来の紙製シートの約1/3の薄さで、空気中の熱を効率良く移動。ダイキン独自技術「対向流型フレーム構造」との組み合わせにより、エレメント内部の空気漏れを大幅低減。

●大型空調向け「低圧力損失エアフィルタ材」(国内向け発売予定)

ダイセルの繊維技術を活用し、エアフィルタ材を共同開発。繊維径の異なる複数の繊維を複合し、従来のろ材よりも集塵効率UP。低圧力損失での空調機運転によりファン消費電力低減。省エネ性の高い運転が可能。目詰まりしにくい構造のため従来フィルタよりも長寿命。

3 2020年度デザイン賞受賞



- ①視覚的な動きかけによる空間デザイン
- ②“人の状態(感情)”と“空間温度”のセンシング
- ③個人の快適性に合わせた空調制御

4 パッケージエアコン70周年



圧縮機、凝縮器、蒸発器、送風機などの空調機の構成機器を”ひとつの箱に納めたわが国初の「パッケージエアコン」が、当社堺製作所で産声をあげ、それから70年、ダイキンの新たな歩みが始まりました。

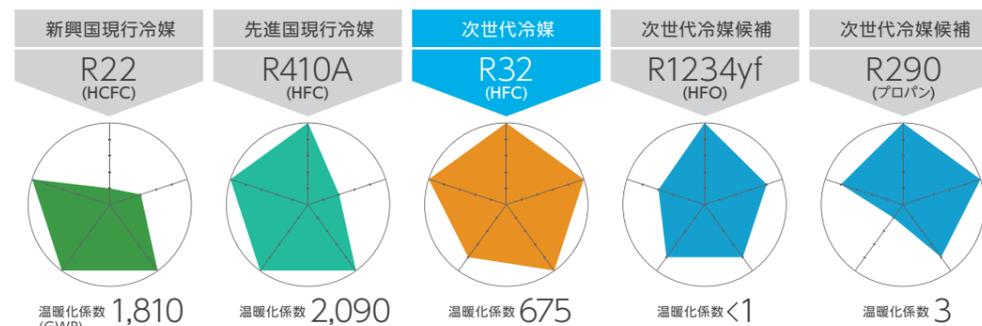
R32

ダイキン工業は冷媒R32を世界各地で展開

R32とは?

京都議定書・モントリオール議定書により、オゾン層破壊と地球温暖化につながる従来冷媒の使用が規制されています。現在、先進国を中心に使用されているR410A(HFC)はオゾン層を破壊しませんが、その温暖化影響に課題があります。R410Aに代わり、オゾン層を破壊せず、温暖化影響の少ない「次世代冷媒」への転換が求められています。ダイキンは次世代冷媒としてR32を使用しております。

[次世代冷媒候補と特徴(家庭用・業務用エアコンの場合)] ※ダイキン独自の評価です



キガリ改正とダイキンの方針(ダイキンのポリシー)

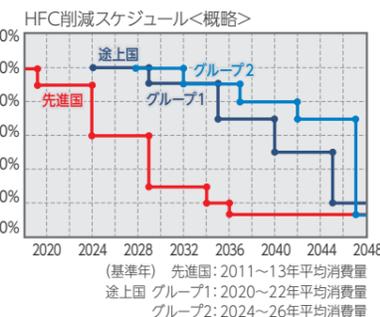
- 「キガリ改正」に賛同します。
- “冷媒の多様性”と“ライフサイクル”で取り組みます。
- “Sooner the Better”、早期に取組みます。
- 更なる優れた冷媒を探索し続けます。

モントリオール議定書 キガリ改正のポイント

2016年10月15日ルワンダ・キガリで開催された、第28回モントリオール議定書締結国会議で、HFCの削減(CO₂換算)が決まりました(キガリ改正)。

- 従来のCFC・HCFCの生産規制に加え、HFCも規制対象となりCO₂換算値(*)での生産量・消費量を段階的に削減
- 先進国: 2019年から2036年までに基準年より段階的に85%削減(グループ1): 2024年から2045年までに基準年より段階的に80%削減(グループ2): 2028年から2047年までに基準年より段階的に85%削減
- 途上国
 ↳ 中東沿岸諸国、インド、イラン、イラク、パキスタン(2016年10月時点)

(*)重量(t)×温暖化係数(GWP)
 (重量×GWP値による規制のため、GWPが1/3(R410A比)のR32は削減に貢献)



保守契約のおすすめ

保守点検を行うメリット

ムダな出費を抑制

突発的な故障、事故による費用の捻出に悩まされるリスクを低減。計画的な予算が立てられます。

機器の高効率運転を維持

機器をベストコンディションに維持することでムダなエネルギー消費を防ぎます。

機器の長寿命化

きめ細かい保守で機器にストレスを加えず、経年劣化を抑えて長寿命化を実現します。

空調のプロによる訪問点検を定期的に実施して欲しい。

定期点検作業でアンシン!

空調設備に精通しているサービスエンジニアが担当するため、現地の設置状況、修理履歴等を把握管理できます。

空調機を長く安心して使うために保全計画を立てたい。

計画的な保全整備でアンゼン!

長年使用していると定期点検だけでは確認できない部分の劣化が続きます。機能、性能の維持には予防保全が重要です。

重要な空調機の故障リスクを最低限に減らしたい。

遠隔監視システムでバンゼン!

IoT技術を駆使し早期に故障を察知するため、24時間265日、機器を遠隔監視します。故障予測で未然の対処も可能です。

※保守点検内容の詳細は弊社までお問い合わせください。